



2021年5月14日

各 位

会社名 株式会社ヨコオ
代表者名 代表取締役兼執行役員社長 徳間孝之
(コード番号6800 東証第1部)
問合せ先 取締役兼執行役員専務 深川浩一
(TEL 03-3916-3111)

2021年3月期における営業外収益（為替差益）の計上、
連結業績予想値と実績値との差異並びに剰余金の配当（期末配当）に関するお知らせ

2021年3月期（2020年4月1日～2021年3月31日）における営業外収益（為替差益）の計上、連結業績予想値と実績値との差異並びに剰余金の配当（期末配当）に関しまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外収益（為替差益）の計上

当第4四半期連結会計期間（2021年1月1日から2021年3月31日まで）において、急激な為替相場の変動により、為替差益695百万円を営業外収益に計上いたしました。

第3四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年12月31日まで）においては為替差損502百万円を計上済みであるため、当連結会計年度（2020年4月1日から2021年3月31日まで）においては為替差益192百万円を営業外収益に計上しております。

2. 2021年3月期（2020年4月1日～2021年3月31日）の連結業績予想値と実績値との差異について

(1) 差異の内容

| | 前回発表予想 (A) (2021年2月9日公表) | 今回実績 (B) | 増減額 (B-A) | 増減率 (%) | (ご参考) 前期実績 (2020年3月期) |
|--------------------------|--------------------------------|-------------|--------------|------------|-----------------------------|
| 売上高(百万円) | 59,500 | 59,976 | +476 | +0.8 | 60,595 |
| 車載通信機器 | 37,000 | 37,292 | +292 | +0.8 | 39,264 |
| 回路検査用コネクタ | 13,200 | 13,242 | +42 | +0.3 | 12,832 |
| 無線通信機器 | 9,300 | 9,441 | +141 | +1.5 | 8,498 |
| 営業利益(百万円) | 5,000 | 5,179 | +179 | +3.6 | 4,916 |
| 経常利益(百万円) | 4,400 | 5,320 | +920 | +20.9 | 4,583 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円) | 3,200 | 3,818 | +618 | +19.3 | 3,440 |
| 1株当たり当期純利益 (円銭) | 152.51 | 184.55 | — | — | 169.85 |

(2) 差異の理由

売上高につきましては、車載通信機器セグメントにおいて半導体不足による自動車メーカーの減産の影響があったものの、為替相場が想定より円安となったことなどにより、予想値を若干上回りました。

営業利益につきましては、車載通信機器セグメントにおいて海上運賃の高騰と部材調達難・生産遅れに伴う航空便の多用による物流費増などの減益要因がありましたが、回路検査用コネクタ・無線通信機器の両セグメントにおける増収による増益に加え、為替相場が想定より円安となったことなどにより、予想値を上回りました。

経常利益につきましては、営業増益に加え、為替差益 192 百万円の計上（前回予想時は為替差損等営業外費用 600 百万円の見込み）などにより、予想値を大幅に上回りました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、投資有価証券評価損 139 百万円を計上した一方、税金費用負担率の低下により、予想値を大幅に上回りました。

3. 剰余金の配当（期末配当）について

(1) 内容

| | 決定額 (2021年6月24日総会付議) | 直近の配当予想 (2020年11月10日公表) | 前期実績 (2020年3月期) |
|----------|-------------------------|----------------------------|--------------------|
| 基準日 | 2021年3月31日 | 同左 | 2020年3月31日 |
| 1株当たり配当金 | 20円 | 16円 | 16円 |
| 配当金の総額 | 440百万円 | — | 324百万円 |
| 効力発生日 | 2021年6月25日 | — | 2020年6月26日 |
| 配当原資 | 利益剰余金 | — | 利益剰余金 |

(2) 理由

当期の業績につきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大の影響などにより売上高が前期を若干下回った一方、車載通信機器セグメントにおける利益率の改善などにより、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は過去最高を更新いたしました。

次期につきましては、ワクチン接種進展の一方で新型コロナウイルス感染症再拡大リスクは一定程度継続し、当社主要市場における需給・競争環境の動向は総じて不透明な状況が続くものとみられます。このような状況下では、財務安定性をより重視した事業運営が不可欠であると考えております。また、市場全体では不透明ながらも、5G（第5世代移動体通信）などの成長分野では依然引合いが強く、引き続き製品開発投資・設備投資の資金需要が高い状態にあります。

以上の状況を踏まえ、当期の期末配当につきましては、過去最高となった利益の株主様への還元、次期以降の資金需要及び財務安定性の確保を総合的に勘案し、1株当たり20円（直近の配当予想から1株当たり4円増額）とさせていただきます。なお、2021年6月24日開催予定の当社第83期定時株主総会に付議することを決定いたしました。なお、当期は1株当たり16円の間配当を実施しておりますので、この場合、通期の配当金は1株当たり36円（連結配当性向19.5%）となります。

(注) 本資料に記載の予想数値は、公表日現在入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上